

第17回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 次第

日 時：平成18年11月 7日(火)
午後1時30分から3時30分
場 所：清浄園 2階 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

第16回委員会の会議録について

4 議題

(1) 総合的な評価に基づく候補地絞り込み結果について・・・・・・(資料1)

(2) 3候補地周辺住民からの意見情報収集について・・・・・・(資料2)

(3) 提言書(案)の検討について・・・・・・(資料3)

5 その他

次回委員会について 11月22日(水) 午後1時30分から
清浄園 2階 会議室

6 閉 会

上田地域広域連合 資源循環型施設建設候補地選定委員会 委員名簿

(敬称略)

平成18年11月 7日

選出	市町村	氏名	備考
住民代表者 (8人)	上田市	栗田 高子	住民代表
	東御市	宮原 則子	"
	上田市 (旧丸子町)	上 沢 忠人	"
	長和町 (旧長門町)	高 角 秀	"
	上田市 (旧真田町)	若 林 政夫	"
	上田市 (旧武石村)	釜 井 善男	"
	長和町 (旧和田村)	樋 口 勲	"
	青木村	小 山 敏子	"
学識経験者 (2人)		木 口 憲 爾	信州大学繊維学部教授 (応用生物科学科)
		表 秀 孝	長野大学産業社会学部教授 (工業経営・環境経営学)
広域連合 議会代表者 (5人)	上田市	藤 原 信 一	広域連合議会 議会代表者会座長 (上田市議会副議長)
	上田市	下 村 聖	広域連合議会 総務委員会委員長 (上田市議会議員)
	上田市	大 井 一 郎	広域連合議会 保健福祉委員会委員長 (上田市議会議員)
	東御市	柳 澤 旨 賢	広域連合議会 保健福祉委員会副委員長 (東御市議会副議長)
	青木村	山 本 哲	広域連合議会 総務委員会副委員長 (青木村議会議長)

*委嘱期間：平成18年5月から平成18年12月まで

事務局

社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	栗原英隆
上田市役所 廃棄物対策課	課長	田中行房
東御市役所 市民課	課長	堀口雅人
上田市役所 丸子地域自治センター 市民生活課	課長	堀内親夫
上田市役所 真田地域自治センター 市民生活課	課長	清水忠
上田市役所 武石地域自治センター 建設環境課	課長	櫻井直道
青木村役場 住民福祉課	課長	中澤知賀雄
長和町役場 町民課	課長	丸山敏和
上田地域広域連合事務局	事務局長	三好健三
	ごみ処理広域化推進室 室長	宮澤俊文
	ごみ処理広域化推進室 主任	塩入学

コンサルタント

国際航業株式会社 技術本部 環境統括部	環境施設部 課長	尾葉石 優
	環境施設部 主任技師	井土 將博
	環境施設部 主任技師	荻山 徹

1 総合的な評価に基づく候補地絞り込み結果

候補地	総合的な評価	結果
3 豊殿産業団地	優先項目に基づく客観的な評価は高い場所であるが、上田市との約束で産業団地となった過去の経過を十分大切にしなければならない。もし、これを変更するという事ならば、十分な議論が必要となり、非常に難しいであろうと判断される。よって候補地からはずすこととしたい。	×
9-1 上川原工業団地 及び周辺農地	現地調査の結果、一番広い区画は既に売却され、既に民間事業者が建設工事に着手している。水の問題として、周辺は水田であるため、法面などから浸出水や地下水などの問題が困難である。面積的にも4ha確保することが厳しい状態である。よって候補地からはずすこととしたい。	×
11-1 神の倉工業団地	優先項目に基づく客観的な評価は高いわけだが、工業団地として造成された土地である。委員会で重視している施設建設後の運営に関して考えると、標高が高い場所にあり、収集車のCO2などの負荷が大きいと判断される。よって候補地からはずすこととしたい。	×
15-1 砂原峠砂原池隣 接山林	地図上では建設が可能と思われるが、現地調査の際に最もアクセス道路の建設が厳しい条件であると判断される。土地の形状も平坦な場所が少ないことから大規模な造成も考えなければならない。よって候補地からはずすこととしたい。	×
15-2 砂原峠旧丸子町 側山林	15-1と条件が変わらないため、候補地からはずすこととしたい。	×
16-1 東山自然運動公 園隣接山林	優先項目に基づく客観的な評価が高く、委員の現地調査の中でも評価の高い意見がある。古墳などの文化財もあるがこれらに細心の注意を払いながら建設は可能であると考えられる。よって候補地として残すこととしたい。	
16-2 東山マルチメデ ィア情報センタ ー隣接山林	条件とすれば16-1の候補地と同じであるが、リサーチパークの中を収集車が通行しなければならない場所があることや食品会社が隣接して立地していることを配慮し、候補地からはずすこととしたい。	×
21 川西地区泉池造 成地及び隣接山 林	現地調査では、地形的に見ると評価が高い意見がある。アクセス道路の整備は必要不可欠となると思うが、住民の利便性を高める効果も考えられる。よって候補地として残すこととしたい。	
24-1 清浄園隣接農地	農用地に隣接する優良な農地であり、開発は避けるべきである。地形的にも緩衝帯を取りにくいいため、候補地からはずすこととしたい。	×
24-2 上田クリーンセ ンター周辺	現地建て替えという考え方がある中で、地域住民の方にとっては、いつまでも施設が継続するという不利益な面もある。これらに最大限の配慮をすることとし、候補地として残していくこととしたい。	

資料 2	H18.11.7
第17回資源循環型候施設建設候補地選定委員会	

2 住民からの意見情報

16-1 東山地区自然運動公園隣接山林

【下之郷自治会役員 12 人 18.10.12】

意見

- ・候補地が具体的にどのように整備されるかイメージ図などを示してもらいたい。
- ・施設が建設されるとしたら、三郎川の整備、県道と交差する大学付近の改良も必要になる。
- ・ごみ処理施設を整備することを考えるとすれば、東山一帯の総合的な構想を示していただきたい。
- ・住民説明は事前に資料を配布し、カラーなど視覚として分かる資料をまとめてもらいたい。
- ・財政的な問題として建設コストやインフラの整備のシミュレーションなどを考える必要があり、クリアしなければならぬ課題は3候補地ごとにある。
- ・施設整備に関する水・道路・公害防止・自然環境などの要望に応じられるかが問題である。
- ・行政に対しては不信感があり、いつも結果だけを知らされる場合が多い。
- ・リサーチパーク組合の御意見も考慮する必要がある。

情報

- ・候補地周辺にマダラヤンマとオオタカの巣があると聞いたことがある。

質疑

- ・ストーカ + 灰溶融方式は決定なのか。

「施設整備検討委員会では安定・安全な処理ができる、過去の実績から望ましいごみ処理方式としてある。付け加えて、ガス化溶融方式等も今後の技術開発動向により検討すべきとなっている。」

- ・3箇所の候補地から1箇所になる時期はいつになるのか。地域でも賛否両論があると考えられるので、11月中の提言は時期的に難しいのではないか。

「3候補地の周辺住民の方から御意見を委員会に報告し、委員会は11月中には提言したいとしているが、候補地周辺住民の皆さんの合意がなければ施設整備することは出来ないと考えているので、提言を踏まえて、地域の皆さんと十分協議をして広域連合として判断してまいりたい。」

- ・ごみ収集車の通行を考えると道路事情を考慮する必要がある。

「道路整備については、ごみ収集車の通行による影響、周辺住民の方への利便性なども考慮する必要があると考えている。ごみ収集車については、大学・工業団地も隣接していることから、朝夕の通勤通学時間帯の通行の抑制などソフト面についても考えなければならない。また、道路整備に限らず施設整備による環境負荷を出来るだけ低減することを考えたい。」

- ・ごみ収集車の通行ルートを示すことは出来るか。

「現在の段階ではお示しすることは出来ないが、理想とされるルートを地域の皆さんと相談しながら考えてまいりたい。」

・選定委員会の情報を候補地が絞り込まれるごとに広報する必要があったのではないか。

「随時、委員会ごとの資料・会議録を広域連合ホームページへ掲載し、広報誌、週刊上田、報道機関等へ情報提供し、広く情報公開に心がけているのでご理解いただきたい。」

・環境アセスメントを実施して計画が断念することがあれば困るのではないか。

「施設を建設した場合を想定して予測調査を実施する。課題などがある場合も含め、施設建設の際に配慮することになる。」

・水が必要になると思うがどうするのか。また、排水については不安がある。

「地下水利用により経費を抑え、雨水等を出来るだけ活用できるような場内循環システムを考えたいので排水は場外へ出さない方式としたい。」

・ごみ処理施設ではどのくらいの水が必要になるのか。

「ごみ1tに対し、冷却に要する水が1t必要とされているが、出来るだけ熱回収して少なくしたい。」

・可燃ごみ処理量は減少しているが、処理能力が150t/日で大丈夫なのか。

「地域住民の皆様の減量意識の向上や事業系資源紙ごみの資源化などの取り組みにより、ごみ処理量が減少しているものと思われる。生ごみの堆肥化等さらにごみ減量化を図り施設は必要最小限としている。」

・候補地に近いところに造成された農用地があるが、候補地として検討はしたか。

「地理情報システムを活用して候補地を抽出している。また、委員会では、農用地について基本的に除外項目としている。」

・臭気について不安がある。

「臭気対策については、最新の施設は、2重シャッターやエアカーテン、外気から施設内に空気を取り込むシステムの活用などで防止出来ると考える。また、煙突から出ているのは水蒸気であるので臭気はないと考える。」

・保安林の指定はあるか。

「水源涵養保安林があり、代替が出来れば開発が可能になる。」

・ごみ収集車は1日当たりの台数は。

「300台程度を想定している。」

21 川西地区泉池造成地及び隣接山林

【小泉自治会役員 4人 18.10.11】

意見

- ・地域振興につながる施設を含めて勉強していきたい。
- ・地域住民の安全確保やごみ収集車を考慮すると大規模に道路整備する必要がある。
- ・特に塩田方面へのアクセス道路は必要不可欠である。
- ・ごみ処理施設は悪いイメージではなく、公共施設の一部であると考えている。
- ・地域住民を対象とした先進地視察も考えていただきたい。
- ・候補地が具体的にどのように整備されるかイメージ図を示してもらいたい。

質疑

- ・候補地の決定はどうか。

「委員会からの提言を踏まえて広域連合として判断していくことになる。地域住民の皆さんの合意が得られなければならないものと考えている。」

- ・山の部分はどのように整備されるのか。

「具体的に地形を考慮した施設配置計画などは、地域住民の方の御意見も含めて検討していきたいと考えている。」

- ・環境アセスメントを実施して計画が断念することがあれば困るのではないか。

「施設を建設した場合を想定して予測調査を実施する。課題などがある場合も含め、施設建設の際に配慮することになる。」

- ・ごみ収集車は1日当たりの台数は。

「300台程度を想定している。」

【小泉自治会役員 40人 18.10.26】

意見

- ・この地域は、前向きな意見があるという新聞報道があったが、地域住民すべてがそうでないことを理解しておいてもらいたい。
- ・委員会へは地域の印象が良かったとは報告してもらいたくない。
- ・候補地周辺住民のことももっと考えていただきたい。
- ・候補地周辺は優良農地であるので考えていただきたい。

情報

- ・候補地周辺は、青木村方面からの西風でうずを巻くのが特徴である。

質疑

- ・排水については不安があるがどうか。

「排水については、場内循環システムなどを構築し、雨水等も含めて活用できるように考えたい。」

- ・候補地周辺は、農地、宅地、ため池等があり、環境汚染等の心配があるがどうか。

「施設から人体、農作物、大気、水質等への影響はないと考えているが、施設の周辺環境へはできるかぎり最大限の配慮を地域住民の皆さんと一緒に考えていきたい。」

・地域住民を対象とした先進地視察も考えているのか。

「計画したいと考えている。」

・この地域の具体的な余熱利用施設の計画はあるのか。

「今後、地域住民の皆さんと一緒に考えてまいりたい。」

・ごみ収集車は1日当たりの台数は。

「300台程度を想定している。また、候補地周辺へのアクセス道路がないので、整備する必要があると考えている。」

・ごみ収集車の通行を考えると道路事情を考慮する必要がある。

「道路整備については、ごみ収集車の通行による影響、周辺住民の方への利便性なども考慮する必要があると考えている。ごみ収集車については、朝夕の通勤通学時間帯の通行の抑制などソフト面についても考えなければならない。」

・ハウス栽培をしているが、影響があったら補償はしてくれるのか。

「施設は安全な施設であり、候補地周辺に汚染などの影響はないが、不測の事態の場合については、速やかに炉を停止し、安全が確保できるまで運転は再開しないなど、公害防止協定書などを締結し、地域住民の皆さんも含めて安全や運営について一緒に監視できるようなシステムを考えたい。」

・生ごみ堆肥化施設も一緒に建設するのか。

「ごみ焼却施設と不燃物を処理するリサイクルセンターを併設する計画であり、生ごみ堆肥化施設は考えていない。生ごみの堆肥化については、家庭での堆肥化や民間で取り組んでいる施設などにより減量化を図りたい。」

・候補地が10箇所から3箇所に絞り込まれたが、この地域が残された理由は。

「地形的に可能性がある、アクセス道路を含めた候補地周辺の道路整備は必要だが地域住民の方への利便性も高まるなどである。」

・施設建設後老朽化していくが、安全は確保できるのか。

「常にメンテナンスを行い、高度な専門技術者を配置するなど安全面については確保できる。」

・臭気について不安がある。

「最新の施設は、2重シャッターやエアカーテン、施設内を負圧にして空気を外に出さないシステムの活用などで防止出来ると考える。」

・施設が稼働される時期はいつか。

「候補地が決定されてから環境影響評価、地質・測量業務、都市計画決定、施設建設などで5年程度の期間がかかると思われる。また、施設建設のみの期間は3年程度と思われる。」

・3箇所の候補地から1箇所になる時期はいつになるのか。11月中の提言は時期的に難しいのではないかと。

「委員会では周辺住民の方から御意見をお聞きし、11月中には提言したいと考えているが、候補地周辺住民の皆さんの合意がなければ施設整備することは出来ないと考えているので、地域の皆さんと十分協議をして広域連合として判断したい。」

24-2 上田クリーンセンター周辺

【泉平自治会役員 19人 18.10.11】

意見

- ・当初から上田クリーンセンター周辺で検討していたのではないかと。クリーンセンター周辺は住宅が多く隣接している。問題が多いといえる。
- ・現在のダイオキシン類の排出状況については、平成9年度以前から比べると1/100程度に低減しているが、それまではダイオキシン類が堆積していると考える。
- ・今までかなり我慢してきたが、いい加減移転してもらいたい。
- ・清浄園隣接農地が10候補地から除外されているが、水害・緩衝帯が設置しにくいなどの状況は上田クリーンセンター周辺も同様であると考える。
- ・3箇所に絞り込む前から候補地周辺住民に報告する必要があったのではないかと。
- ・候補地となることは絶対反対である。反対期成同盟会などの設立も考えたい。
- ・現施設があるから建替えればよいと考える人が多いのではないかと。

情報

- ・公園があった場所はいつの間にか灰固形化施設が建設された。
- ・現クリーンセンターが建設された当時の約束では、更新時には移転する、クリーンセンター北側の道路を整備する、健康診断を年2回・施設稼働状況報告を年1回とする内容があるが、今までに実施されていない。

質疑

- ・施設更新の周期はどのくらいか。
「最近の更新された施設では、25年から30年程度を想定している例が多い。」
- ・委員会に候補地周辺住民が委員として選出されるべきではないか。
「候補地を上田地域広域連合圏域全体から地理情報システムを活用し候補地を選定してきたので、御理解をお願いしたい。」

【諏訪部自治会役員 3人 18.10.18】

意見

- ・地域住民への経過報告・意見収集については、自治会として協力できない。
- ・まず、総合的に地域振興策を示してもらうのが前提である。
- ・候補地内に住宅・企業・農地などがどのくらいあるか示すべきである。
- ・施設を建設する場合、移転する地権者のことを十分配慮しているのか。また移転対象とならない周辺住民への配慮もすべきである。
- ・候補地選定された経過に疑問がある。
- ・安全な施設であるという説明であるが、行政は信用できない。
- ・当該地域には、廃棄物処理施設がほかに2箇所(下水浄化センター、清浄園)もあって、また、建て替えというのは住民感情を無視している。
- ・3候補地のそれぞれの総事業費は試算すべきである。

- ・このような重要な事項は、上田市が設置している地域協議会に諮るべき問題ではないか。

情報

- ・市道の拡幅でクリーンセンター周辺に移転した経過がある住民もいる。

質疑

- ・アクセス道路はどのように考えているのか。

「堤防道路の改修などは必要であると考える。」

- ・必要面積を4haとしているが、住宅等の移転が出来ない場合、緩衝帯は設置できるのか。

「上田クリーンセンター周辺の住宅等の移転が出来ないとなると緩衝帯の設置は限定されることも予想される。」

- ・現上田クリーンセンターはどうなるのか。

「新しい施設ができれば取り壊しすることになる。」

目 次

	ページ
1 資源循環型施設建設候補地について・・・・・・・・・・・・・・・・	
(1) 提言する候補地・・・・・・・・・・・・・・・・	
(2) 候補地選定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	
(3) 付帯意見・・・・・・・・・・・・・・・・	
(4) 候補地位置図・・・・・・・・・・・・・・・・	
2 候補地選定の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・	
3 候補地選定経過図等・・・・・・・・・・・・・・・・	
(1) 建設除外地域重ね図・・・・・・・・・・・・・・・・	
(2) 建設可能地域とエリア図・・・・・・・・・・・・・・・・	
(3) 建設可能地域と除外エリア図・・・・・・・・・・・・・・・・	
(4) 建設可能区域図・・・・・・・・・・・・・・・・	
(5) 建設可能区域絞込み図・・・・・・・・・・・・・・・・	
(6) 候補地抽出図・・・・・・・・・・・・・・・・	
(7) 建設候補地の絞込み・・・・・・・・・・・・・・・・	
(8) 10箇所の候補地の評価方法・・・・・・・・・・・・・・・・	
(9) 候補地の絞り込み・・・・・・・・・・・・・・・・	
(10) 提言する候補地・・・・・・・・・・・・・・・・	
4 委員会開催経過・・・・・・・・・・・・・・・・	
5 住民への報告・・・・・・・・・・・・・・・・	
6 委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	
7 委員会設置要綱・・・・・・・・・・・・・・・・	
8 資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	別冊

1 資源循環型施設建設候補地について

(1) 提言する候補地

(2) 候補地選定の考え方

(3) 付帯意見

委員会において、次のとおり付帯意見がありました。

1 地域住民との合意形成に向けた努力

住民の皆さんからの意見収集をする中で、さまざまな意見、要望が出されています。

排ガスに対する不安だけでなく臭気、振動、騒音はどうか、収集車のルート、周辺の動植物に対する影響などこれらの問題に対してひとつひとついねいな対応をして住民の皆さんの理解を深め、事業を進めるようにしてください。

また、余熱利用施設、関連道路の改修などさまざまな要望についても十分議論しながら進めてください。

2 施設建設後の運営に関する地域との連携

周辺住民の皆さんにとっては、施設建設後の運転管理が特に重要であると考えます。住民とともに安全で安心できる施設運営になるような仕組みづくりを建設前から作るようにしてください。

3 資源循環、省エネルギー、環境保全への配慮

環境に配慮した施設とすることはもちろんのこと、ごみ減量に向けた取り組みを進め収集車の台数を少なくすることによる省エネルギーへの取り組み、周辺の自然環境整備、自然保護のための地域への協力などに配慮するようにしてください。

4 積極的な資源活用

資源をできるだけ循環するために、雨水の資源活用、排水のリサイクル、太陽光発電の活用、焼却灰の資源化を積極的に進めるようにしてください。

5 J T 跡地について

委員会において、J T 跡地についても検討したらどうかとの意見があり議論したところ、当該土地の活用については上田市における研究会で検討されていることから、委員会としては、参考として、候補地を評価した同じ項目で当該土地を評価いたしました。その結果を次ページに掲載いたします。

JT跡地の評価集計比較表

項 目		3		9-1		11-1		15-1		15-2		16-1		16-2		21		24-1		24-2		JT	
生活・自然環境	車両通行の影響	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.25	C	0.25	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00
	生物への影響	A	2.00	A	2.00	C	0.25	C	0.25	B	1.00	A	2.00	A	2.00	A	2.00	A	2.00	A	2.00	A	2.00
	放流先の類型・権利	C	0.25	C	0.25	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.25	C	0.25	C	0.25	C	0.25
周辺環境	周辺住宅等状況	C	0.25	B	1.00	A	2.00	A	2.00	A	2.00	A	2.00	A	2.00	C	0.25	C	0.25	C	0.25	C	0.25
	公共施設の位置	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	B	0.50	B	0.50	B	0.50	A	1.00	A	1.00	C	0.25
都市基盤	都市基盤整備状況	B	0.50	B	0.50	B	0.50	C	0.25	C	0.25	B	0.50	B	0.50	B	0.50	A	1.00	A	1.00	A	1.00
土地利用	土地利用計画	B	1.00	B	1.00	B	1.00	A	2.00	A	2.00	B	1.00	B	1.00	A	2.00	C	0.25	B	1.00	B	1.00
土地取得	周辺土地利用等への影響	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.25	C	0.25	C	0.25
災害危険	流域面積の大きさ	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.25	C	0.25	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00	A	1.00
省エネルギー等	総運搬距離	A	2.00	C	0.25	B	1.00	B	1.00	B	1.00	A	2.00	A	2.00	B	1.00	A	2.00	A	2.00	A	2.00
合 計		10.00		9.00		9.75		9.00		9.75		12.00		12.00		9.50		9.00		9.75		9.00	

網掛けしてある項目は重み付けした項目